

ふりがな 氏名	かけはし あいこ <b>梯 愛依子</b>	都道府県	福岡県	
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> <li>PLAY FUKUOKA プレイワーカー、研修コーディネーター</li> <li>一般社団法人サステナビリティ・ダイアログ ソーシャル事業部</li> </ul>			
私のESD活動	子どもも大人もいきいきと暮らす日々と未来のための プレイワーク、コミュニティワーク、ラーニングジャーニー			
ESD活動を表すキーワード	遊ぶ	コミュニティ	学び合い	

### 活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

2008年「学生プレイワーカー育成講座」を第1期生として受講し始め、現在はコーディネート役を勤めています。福岡県内の8つ程の大学から、子どもや教育に関心のある学生達が集まり、子どもの育つ環境や関わる大人のあり方について学び合いを続けています。現在ではのべ250人以上の受講生が卒業し、それぞれ教師や行政職員、あるいは企業に勤めたり母親になったりとそれぞれの立場から社会で活躍しています。

子どもの視点から社会を見ると、人々の暮らしにとって本質的に重要な点を突きつけられます。子どもが自ら育つ力を発揮する「遊び」の重要性を理解し、環境を整える活動は、長い目で未来を育むことと言えます。学生たちが互いの持ち味を活かして学び合う取り組みは、智恵と経験を重ねて個々の自信となり、その後も拠り所とできるコミュニティを育み、結果として社会に出て子どもにやさしいまちづくりを担う人材を輩出するという循環型システムとなっています。現在も月に一度の学び合いの場と、福岡市の放課後等の遊び場づくり事業における現場実習を基本とする育成講座を行っており、世代交代等で活動自体の持続可能性が危ぶまれることの多い市民活動にとって貴重な人材育成の基盤を築いています。

現在では、子どもに直接関わるだけでなく、子どもを取り巻く大人や地域環境へのアプローチが必要と考えるようになり、大事な話のための場づくりを考えるトレーニング(Art of Hosting)他へ参加し、サステナビリティや参加型リーダーシップ、コミュニティワークや対話型ファシリテーション、パーマカルチャーについて学びを深めながら、各地に根ざす実践者の研修等での実践とを行き来しています。

・PLAY FUKUOKA Facebook ページ <https://www.facebook.com/PLAYFUKUOKA>

・一般社団法人サステナビリティ・ダイアログ Facebook ページ <http://u111u.info/m9zf>

### ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？

①コミュニティのユース(受講生・同窓生のグループや福岡・九州でNPOや教育に関わる若手)、②地域に暮らす生活者や実践者、③アジアやグローバルで繋がるユース、それぞれと共に活動を深め、さらに互いの良さを持続可能な暮らしや社会のために活かし合えるような活動を展開していきたいと考えています。

ESDを言葉として知らない人、あるいは考えたことのない人は未だ多いと思いますが、同時に、大切なこととして考えたいと思っている人も多く潜在しています。これまでの育成事業の蓄積を活かして、そうした人たちに届く呼びかけをし、共に考え行動していく機会をつくっていきます。次に、地域に暮らす人々、とりわけ里山や地方に長年住む中高年の先輩たちが持っている、私たちが持続可能性を追求する上で学ぶべき智恵を分けてもらう機会をつくっていきます。さらに、そうした小さな活動の一つ一つを収穫して、共有できる実践知を創出していきたいと考えています。